

滋賀県立大学研究拠点

本学の研究の戦略目標は、

滋賀県立大学は、建学の精神に基づき、本学の特長を生かした研究の推進、高度化および活性化を図るために、本学の研究の戦略的目標を以下のとおり定める。

1. 「地域から世界へ」という視点に立ち、地域課題に取り組むとともに、国際的に卓越した研究分野を育成し、地域の発展、人類への貢献を目指す。
2. 「滋賀県」「びわ湖」を研究のフィールドや起点として、先人の歴史や暮らしを探究するとともに、自然と調和する持続可能な社会の仕組みを提案し、地域住民の健康や福祉に寄与する。
3. 産学官民連携や地域ならびに国内連携、国際共同研究など様々な機関・団体との連携を強化し、独創的および実践的研究に取り組み、その成果を社会に還元する。

と定められている。

この目標を達成するために各学部、センターおよび産学官民連携による次のような戦略的な研究拠点を定める。

I 琵琶湖モデル構築に関する研究

琵琶湖の水質保全、生態系、集水域および周辺環境と暮らしに関する総合的な研究を行い、「地域より世界へ」の視点に立ち、琵琶湖モデルを構築し、世界へ移行することによる国際的な貢献を目指す。

II 先端技術による低炭素地域社会実現および地域産業活性化のための研究

先端技術を用いて低炭素社会の実現を図るとともに地域の産業界の活性化に貢献するための研究を行う。

III 近江の歴史と暮らす人々の健康と福祉に関する研究

先人の歴史や暮らしを探究するとともに将来の地域住民の豊かな暮らし、健康と福祉に寄与する研究を推進する。

IV 国際交流拠点の形成

滋賀県と世界の国際交流の拠点となりうる研究を推進する。